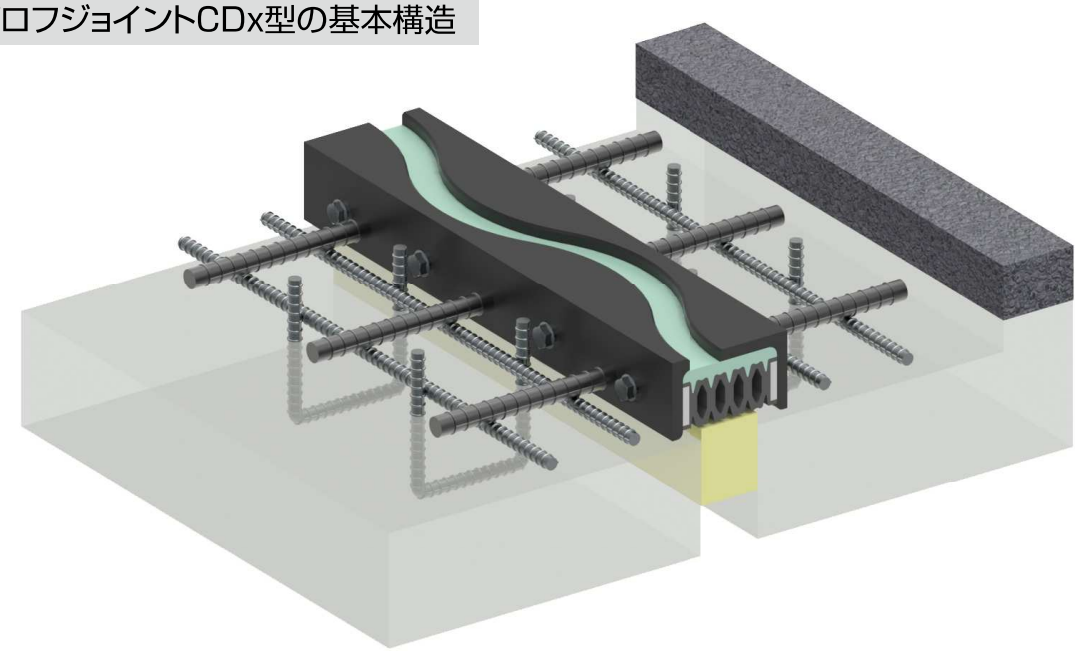
橋梁用伸縮装置　NETIS 登録番号　KT-230293

ブロフジョイントCDx型

はじめに

橋梁用伸縮装置として、ブロフジョイントは昭和37年に最初のモデルが発売されて以来、常に一貫として「伸縮継目部にも車輪圧に対する支圧強度をもたせ、道路面の一部として機能させる」という基本理念のもと設計、製作、施工され、各種橋梁、長大橋、斜橋などに使用されております。今回、鋼製伸縮装置であるブロフジョイントCDs型の改良版として、よりグレードアップしたブロフジョイントCDx型を開発いたしました。

ブロフジョイントCDx型の基本構造



ブロフジョイントCDx型は、600万回（50年相当）の疲労耐久性試験とNEXCO試験法438の止水性能試験を実施しています

※NETIS登録番号 KT-230293 橋梁用伸縮装置ブロフジョイント用接着剤

特　長

1. 走行性

フェイスプレートの遊間を波形構造にすることによって、車両走行がスムーズになり、通過時の騒音を低減できます。

2. 耐久性

走行面が鋼製でシンプルな構造のため、耐久性に優れています。

3. 止水性

ボルト固定されたゴムパッキンと弾性シール材の二重構造により、止水性に優れています。

4. 施工性

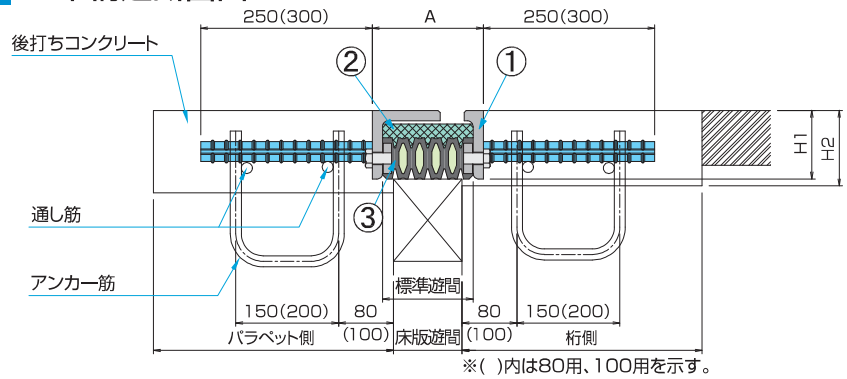
簡単な構造で比較的軽量なため施工性に優れています。

橋梁用伸縮装置

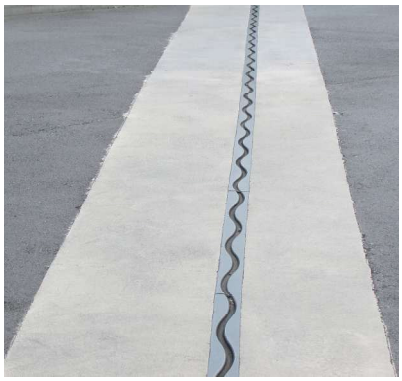
ブロフジョイントCDx型

NETIS 登録番号 KT-230293

基本構造断面図



※( )内は80用、100用を示す。



標準寸法表

単位：mm

規格	有効伸縮量	標準遊間	A	H1	H2	重量(kg/1.8m)
CDx−20 用	20	62	76 ～ 96	75	80	61
CDx−30 用	30	77	86 ～ 116	75	80	67
CDx−40 用	40	100	104 ～ 144	75	80	75
CDx−50 用	50	109	110 ～ 160	90	95	93
CDx−60 用	60	132	132 ～ 192	100	105	117
CDx−80 用	80	176	174 ～ 254	150	155	187
CDx−100 用	100	186	186 ～ 286	150	155	229

標準仕様

番号	名称	材質
①	保持金物	SS400,SD345
②	弾性シール材	STシールB
③	ゴムパッキン	CR+SS400

弾性シール材の物理的性質

項目	単位	規格値	試験値	試験方法
比重	−	1.1±0.2	1.1	JIS K 6350 準拠
硬度	度	8±5	5	JIS K 7312 準拠
最大引張応力	kN/㎡	80以上	274	JIS A 5758 準拠
破断時伸び	%	600以上	865	JIS A 5758 準拠
50%圧縮強さ	kN/㎡	70±50	46	JIS K 6767 準拠

ゴムパッキンの物理的性質

項目		単位	規格値	試験値	試験方法
引張強さ		N/㎟	15以上	19.9	引張試験 JIS K 6251
伸び		%	300以上	530	引張試験 JIS K 6251
硬さ		−	A55±10	A58	硬さ試験 JIS K 6253
引裂強さ		N/㎜	30以上	60.5	引裂試験 JIS K 6252
老化試験	引張強さ変化率	%	20以下	−3	空気加熱老化試験 JIS K 6257 (70℃×96hr)
	伸び変化率	%	20以下	−11	
	硬さ変化	−	10以下	2	
圧縮永久ひずみ		%	25以下	10	圧縮永久ひずみ試験 JIS K 6262 (70℃×24hr)

ブロフジョイントに使用する鋼材は、
JIS 規格品を採用しております。

NEXCO構造物施工管理要領規格(H22)

当社は伸縮装置施工も請け負います。お問合わせください。

東京ファブリック工業

支店

札幌　盛岡　仙台　宇都宮　新潟　東京　横浜　名古屋
金沢　京都　大阪　高松　広島　福岡　鹿児島

お問い合わせ先

本店　〒163-0429　東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
URL：https://www.tokyo-fabric.co.jp/

本カタログの仕様は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。　掲載の記事・写真・イラスト等を無断で複写したり他に転載する事をお断りします。

2026.7.1